

带状疱疹の予防接種についての説明書

定期接種の対象者・接種費用・方法

〈対象〉定期接種の対象者は以下の方です。

対象者は年度によって異なります。接種の機会を逃さないようにご注意ください。

①年度内に 65 歳を迎える方

②60～64 歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

※令和7年度から5年間の経過措置として、その年度に **70、75、80、85、90、95、100歳になる方**も対象となります。

〈接種費用〉

対象ワクチン	自己負担金額
生ワクチン (阪大微研：乾燥弱毒性生水痘ワクチン「ビケン」)	4,500円
組換えワクチン (GSK社：シングリックス)	11,000円 (2回接種で計22,000円)

〈接種する方法〉

武蔵野市および三鷹市の指定医療機関 ※事前に予約のうえ、受診して下さい

※武蔵野市・三鷹市の指定医療機関以外での接種を希望する場合は、事前に「予防接種実施依頼書」の交付申請をした場合のみ、予防接種後に費用の助成(償還払い)が受けられます(上限あり)

带状疱疹は、痛みを伴う皮膚の病気です

- 带状疱疹は、水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経に沿って、痛みを伴う水疱(水ぶくれ)が現れる皮膚の病気です。
- 合併症の一つに、皮膚の症状が治った後にも痛みが残ることがあり、日常生活に支障をきたすこともあります。



带状疱疹ワクチンは2種類あります

- 带状疱疹ワクチンには2種類あり、接種方法や、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なりますが、**いずれのワクチンも、带状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。**

◎ワクチンの特徴

	生ワクチン(阪大微研)	組換えワクチン(GSK社)
接種方法	皮下に接種	筋肉内に接種
接種回数と間隔	1回	2回(2か月以上の間隔をあける)※
接種条件	病気や治療によって、 免疫の低下している方は接種できません	免疫の状態に関わらず接種可能

(※) 病気や治療により、免疫の機能が低下したまたは低下する可能性がある方等は、医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を1か月まで短縮できます。

◎带状疱疹に対するワクチンの予防効果

	生ワクチン(阪大微研)	組換えワクチン(GSK社)
接種後1年時点	6割程度	9割以上
接種後5年時点	4割程度	9割程度
接種後10年時点	—	7割程度

(※) 带状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、組換えワクチンは9割以上と報告されています。

◎ワクチンの安全性

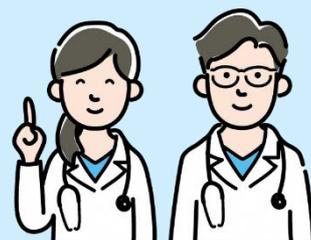
- ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。
- 頻度は不明ですが、生ワクチンについては、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンについては、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。

主な副反応の発現割合	生ワクチン(阪大微研)	組換えワクチン(GSK社)
70% 以上	—	疼痛※
30% 以上	発赤※	発赤※、筋肉痛、疲労
10% 以上	そう痒感※、熱感※、腫脹※、疼痛※、硬結※	頭痛、腫脹※、悪寒、発熱、胃腸症状
1% 以上	発疹、倦怠感	そう痒感※、倦怠感、その他の疼痛

(※) ワクチンを接種した部位の症状 各社の添付文書より厚生労働省にて作成

◎他のワクチンとの同時接種について

- 带状疱疹ワクチンは、医師が特に必要と認めた場合に、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン等と同時接種が可能です。
- 生ワクチンについては、他の生ワクチンとは 27 日以上の間隔を置いて接種してください。



◎接種にあたっての注意事項

予防接種の実施においては、体調の良い日に行うことが原則です。健康状態良好でない場合には、かかりつけ医等に相談の上、接種するか否かを決めてください。

<以下に当てはまる方は予防接種を受けられません>

- ・この予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことがある方
- ・その他、医師が不適当な状態と判断した方

<以下のような場合は接種を受けることができませんので、治ってから受けるようにしてください>

- ・発熱している方
- ・重篤な急性疾患にかかっている方

※生ワクチンの接種を希望される場合、上記に加えて病気や治療によって、免疫の低下している方は接種できません。

<以下に当てはまる方は、接種にあたって注意が必要なので、あらかじめ医師に相談してください>

- ・心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方
- ・予防接種を受けて2日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギー症状があった方
- ・痙攣を起こしたことがある方
- ・免疫不全と診断されている方や、近親者に先天性免疫不全者の方がいる方
- ・带状疱疹ワクチン（生ワクチン、組換えワクチン）の成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方

※生ワクチンの接種を希望される場合、輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後3か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後6か月以上置いて接種してください。

◎予防接種健康被害救済制度について

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。制度の利用を申し込むときは、健康課までお問い合わせください。

带状疱疹ワクチンについてもっと詳しく知りたい方はこちら

厚生労働省ホームページ

厚労省 带状疱疹ワクチン 検索



■問い合わせ先

武蔵野市立保健センター健康課 住所：武蔵野市吉祥寺北町4-8-10

電話：0422-51-7006